

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	加藤 浩
連絡先メールアドレス	hkato@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部 リハビリテーション学科 大学院看護福祉学研究科 健康支援科学専攻
略歴	<p>【学歴】</p> <p>1991年 国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院 卒業</p> <p>2001年 広島大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程後期 入学</p> <p>2004年 広島大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程後期 修了</p> <p>【職歴】</p> <p>1991年 九州大学医学部附属病院リハビリテーション部</p> <p>2003年 吉備国際大学保健科学部理学療法学科 助教授</p> <p>2008年 九州看護福祉大学看護福祉学部リハビリテーション学科 教授</p> <p>2014年 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科健康支援科学専攻 併任</p>
取得学位	博士(保健学)(広島大学)2004年
担当科目	<p>【学部】運動学, 運動学演習, バイオメカニクス, バイオメカニクス演習, 運動器理学療法学, 運動器理学療法学演習Ⅰ, 運動器理学療法学演習Ⅱ, 運動器理学療法学特論, リハビリテーション医学Ⅰ, 卒業研究論文, 臨床実習Ⅰ, 臨床実習Ⅱ, 臨床実習Ⅲ</p> <p>【大学院】健康支援科学通論, 健康医科学, 生体運動・動作解析学, 表面筋電図計測・解析論, 介護予防フロンティア戦略論, 身体運動機能支援科学特論, 身体運動機能支援科学演習, 健康支援科学研究</p>
関連資格	専門理学療法士(運動器)
専門分野	理学療法
所属学会	日本理学療法士協会, 日本股関節学会, 日本体力医学会, 理学療法科学学会
現在の研究テーマ	筋の質的機能評価
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 加藤浩: 極める大腿骨骨折の理学療法—医師と理学療法士の共働による術式別アプローチ(齋藤秀之, 他 編) 東京: 文光堂; 2017. pp17-20. 加藤浩: 標準理学療法学 専門分野 運動療法総論(第4版)(吉尾雅春, 他 編) 東京: 医歯薬出版; 2017. pp550-557 加藤浩: 理学療法(PT)NAVI-臨床思考”が身につく 運動療法Q&A(高橋哲也 編) 東京: 医学書院; 2016. pp139-164. 加藤浩: 感覚入力で挑む(齋藤秀之, 他 編) 東京: 文光堂; 2016. pp53-64. 加藤浩: 筋緊張に挑む(齋藤秀之, 他 編) 東京: 文光堂; 2015. pp32-47. 加藤浩: スポーツ外傷・障害ハンドブック-発生機序とその予防-(陶山哲夫, 他 編) 東京: 医学書院; 2015. pp 90-111 加藤浩: 理学療法指針(内山靖, 他編) 東京: 医歯薬出版; 2015. pp17-32. 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス・極める変形性膝関節症の理学療法—保存的および術後理学療法の評価とそのアプローチ—(齋藤秀之・加藤浩 編) 東京: 文光堂. 2014.

9. **加藤浩**. 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス・極める変形性股関節症の理学療法—病期別評価とそのアプローチ—(斉藤秀之・加藤浩編)東京:文光堂;2013. pp104-106.
10. **加藤浩**. 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス新人・若手理学療法士のための最新知見の臨床応用ガイド—筋・骨格系理学療法—(斉藤秀之編)東京:文光堂;2013. pp12-20.
11. **加藤浩**. 筋骨格系理学療法を見直す(対馬栄輝編)東京:文光堂;2011. pp93-110.
12. **加藤浩**. 老いを内包する膝—早期診断と早期治療—(井原秀俊編)東京:全日本病院出版;2010. p62-72.
13. **加藤浩**. 理学療法ハンドブック改訂第4版第1巻 理学療法の基礎と評価(細田多恵, 他・編). 東京:協同医書出版;2010. p981-1004.
14. **加藤浩**. 実践 MOOK・理学療法プラクティス大腿骨頸部骨折—何を考え, どう対処するか(加藤浩, 他・編). 東京:文光堂;2009. p23-24.
15. **加藤浩**. 実践 MOOK・理学療法プラクティス変形性関節症—何を考え, どう対処するか(嶋田智明・他編). 東京:文光堂;2008. p187-195.
16. **加藤浩**. 多関節運動連鎖からみた変形性関節症の保存療法—刷新的理学療法—(井原秀俊, 他・編). 東京:全日本病院出版;2008. p26-47,p116-138.

【論文】

1. **加藤浩**: 理学療法の臨床場面における定量的歩行分析の進め方. 理学療法 35(2): 135-146(2018)
2. **加藤浩**: 動作筋電計装置の活用法. 医療と検査機器・試薬 41(2): 89-96(2018)
3. **加藤浩**: 極める股・膝関節機能障害の理学療法. 理学療法京都 47: 11-15(2018)
4. **加藤浩**: 筋の質的機能特性からみた変形性股関節症に対する理学療法—筋力トレーニングのあり方を見直す—. 理学療法えひめ 31: 9-13(2017)
5. **加藤浩**: 股関節疾患患者の筋機能特性と治療戦略. 理学療法福岡 30: 34-39(2017)
6. **加藤浩**・他: 内側型変形性膝関節症患者に対するインソール治療が歩き始め動作の足圧中心軌跡に及ぼす影響. 臨床歩行分析研究会誌 3: 29-33(2016).
7. **加藤浩**・他: 骨盤帯との関係で生じる股関節疾患の機能解剖学的病態把握と理学療法. 理学療法 32(11):1000-1014(2015)
8. **加藤浩**・他: 変形性股関節症患者の身体活動の意義およびその取り組みの実際と効果. 理学療法 32(2):113-121(2015).
9. **加藤浩**・他. 運動連鎖からみた変形性股関節症と理学療法. 理学療法 31(8): 816-828(2014).
10. **加藤浩**. 術後股関節疾患患者に対する踵接地を意識させた歩行訓練が股関節外転筋活動に及ぼす影響—表面筋電図による積分筋電図及び wavelet 周波数解析—. 理学療法科学 27(4):479-483(2012).
11. **加藤浩**・他. 変形性膝関節症の機能評価. Monthly Book Orthopaedics 25(6):14-24(2012).
12. **H Katoh**, et al. Effects of arm swing limitation on knee joint moment during walking - biomechanical analysis using a 3D motion capture system-. J Phys Ther Sci24(10):965-967(2012).
13. **加藤浩**. 多関節運動連鎖の視点からとらえた変形性股関節症の筋機能評価. 臨床脳波 52(8):425-436(2010).
14. **加藤浩**. 多関節運動連鎖からみた身体運動制御と筋機能評価—変形性股関節症に対する刷新的評価と治療戦略—. The Journal of Clinical Physical Therapy13:17-26(2010).
15. **H Katoh**, S Jingushi. The Relationship between Dynamic Frequency Characteristics of Surface EMG and Gluteus Medius Muscle Tissue Morphology in Patients with Chronic Hip Diseases -Time Frequency Analysis Using Wavelet Transform for Disuse Muscle Atrophy Evaluation-. Medicine and Biology 152(11): 480-489(2009).

	<p>16. 加藤浩・他. 変形性股関節症の理学療法における運動制御・学習理論の応用. 理学療法. 26(7):835-848(2009).</p> <p>17. 加藤浩・他. 骨・関節系疾患のエビデンスに基づく理学療法. 理学療法福岡. 22:16-21(2009).</p> <p>18. 加藤浩・他. 股関節疾患による異常歩行とその分析. 理学療法. 26(1):123-137(2009).</p> <p>19. 加藤浩・他. 動画で学ぶ関節機能評価と臨床推論ー股関節機能の評価法と臨床推論の進め方. 理学療法. 25(9):1289-1303(2008).</p> <p>20. 加藤浩・他. 変形性関節症に対する理学療法の多施設間共同研究実践モデル. 理学療法. 25(5):786-795(2008).</p>
<p>関連業績 (受賞歴・科研費・特許等)</p>	<p>【受賞歴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済産業省 第5回ものづくり日本大賞(中国経済産業局長賞)受賞(2013) 臨床普及型の表面筋電図解析評価システム「EMG マスター」の開発製造 2. 第27回 石本デサントスポーツ科学振興財団自由研究課題 優秀入選 原著:wavelet 表面筋電図周波数解析を用いた歩行時の質的筋活動分析. デサントスポーツ科学 27:56-65(2006). 3. 第12回 理学療法ジャーナル賞 準入賞 (医学書院) 原著:短時間フーリエ変換を用いた歩行時中殿筋の量・質的評価の試みー健康者と変形性股関節症患者の時間周波数特性ー理学療法ジャーナル 34:53-59(2000). <p>【科研費】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2017-2019年(基盤研究C)(課題番号17K01549)の採択 研究代表者:加藤浩 研究課題:情報エントロピーによる股関節疾患患者の動きの「滑らかさ」のメカニズムに関する研究 2. 2013-2015年(基盤研究C)(課題番号25350655)の採択 研究代表者:加藤浩 研究課題:歩行時における股関節疾患患者の下肢力学的エネルギー連鎖と筋の質的機能に関する研究 3. 2010-2012年(基盤研究C)(課題番号22500493)の採択 研究代表者:加藤浩 研究課題:二関節筋機能から捉えた股関節疾患患者の姿勢制御病態とその訓練効果に関する研究 4. 2007-2009年(基盤研究C)(課題番号19500467)の採択 研究代表者:加藤浩 研究課題:リアルタイム wavelet 周波数解析を用いた多関節運動連鎖系筋機能向上訓練 5. 2004-2006年(若手研究B)(課題番号16700434)の採択 研究代表者:加藤浩 研究課題:慢性股関節疾患患者の歩行動作障害の改善に向けた筋の質的トレーニング 6. 2002年(奨励研究)(課題番号14922168)の採択 研究代表者:加藤浩 研究課題:変形性股関節症患者の日常生活動作能力を反映した質的筋活動評価の試み

	<p>【特許】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業財産権. 名称:角度計. 発明者:永崎孝之. 権利者:永崎孝之, 加藤浩・他. 種類:特許. 番号:特許第 4714799 号. 出願年月日:2010 年 11 月 1 日. 登録年月日:2011 年 4 月 1 日. 国内外の別:国内. 2. 産業財産権. 名称:歩行能力の改善を目的とした筋力トレーニング機器. 発明者:加藤浩. 権利者:同上. 種類:特許. 番号:特許第 2009092646 号. 出願年月日:2009 年 4 月. 国内外の別:国内. 3. 産業財産権. 名称:身体動作能力の質を定量化するシステム措置. 発明者:加藤浩. 権利者:同上. 種類:特許. 番号:特許第 2006-021691 号. 出願年月日:2006 年1月. 国内外の別:国内.
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>日本理学療法士協会 理学療法学編集委員会査読委員 日本運動器理学療法学会 常任運営幹事</p>